

南第二小を残すための具体的な方策の提案

1. 二小 学校コミュニティ会議の発足経緯と

「生駒市立小・中学校のあり方に関する基本的な考え方」のコミュニティ・スクール

1) 二小 学校コミュニティ会議の発足経緯

南第二小の前・山中校長はユネスコの教育の3原則の「学校教育」「家庭教育」「地域（社会）教育」が重要として、学校教育だけでなく家庭教育や地域教育を求める中で、二小 学校コミュニティ会議を発足させました。

そして、学校とPTAや地域が同じ目線に立って協働で実施することで、深い関係を築いてきました。

2) 教育委員会がまとめた「生駒市立小・中学校のあり方に関する基本的な考え方」の「コミュニティ・スクールの推進」では次のように記載されています。

二小 学校コミュニティ会議の発足経緯との決定的な違いは、学校指導で地域づくりをするかのように解釈していることです。

記載事項	課 題
「地域に開かれ、地域とともにある学校」を目指しコミュニティ・スクールの推進・・・	文科省の指針は、従来の教育行政がPTAや地域の意見を十分に反映していなかったことを改め、学校、PTA、地域の代表からなる学校運営協議会制度：コミュニティ・スクールを通じて学校運営をするとしています。 また、教育委員会に対しても意見を述べるができるとしています。 この基本的な教育行政の反省と改善を明確にしないで「地域に開かれ、地域とともにある学校」を目指すとして、ごまかしています。 また、コミュニティ・スクールの運営より地域学校協働活動が重要として実施を進めています。 この方法では地域学校協働活動の継続も困難となり、コミュニティ・スクールの危うくします。
学校再編によって、住民の間に新たな絆を作り、一体となって新しい学校を支える体制を構築し…より多様性のある地域づくりの契機になる可能性があります。	突然の学校再編は地域にとって賣い事故のようなもので多くの住民が反発したものです。これによって、住民の間に新たな絆を作ったものではありません。もともと、地域の絆はあったのです。 自ら招いた問題すら学校が行う地域づくりに結びつけようとする教育行政は信用を失うものです。 地域として行うべき子供の教育は地域で行います。また、学校が求める協働活動に地域で協力はします。 しかしながら、学校指導で地域づくりをすることは致しません。そんなことができるはずがありません。

2. 小規模校を存続させるための具体的な方策 各項目別に具体的な方策をまとめてみました。

① 小規模校を最大限生かした教育活動の徹底

これは、主に教育行政側で検討してください。

関連する情報のみ提示します。

A. 萩の台駅からあやめ池の近大付属小学校に通う子供もいます。魅力ある学校運営を
すると他の校区からくる生徒もいます。

交通の便の良い立地条件を生かして他の校区の子供も受け入れる教育活動の検討を
してください。

B. 発達障害のある生徒が増えています。私の住んでいるマンションでは他の地区の住ま
いから引越しをしてきて南第二小に入った事例があります。

- ・その子は南第二小が大好きになりました。

- ・自治会の活動にも積極的に参加してくれるようになりました。

- ・現在は奈良市内の中学校に通っていますが、地域が好きだから中学までは住んで
やると言っています。

C. 色々な障がいがある生徒の小学校への受け入れも決まったようです。

目の届く小規模校の特性を生かし、地域も協力をしますので受け入れの検討をしてく
ださい。

第1回地域協議会で中田さんから提案されたユネスコスクールへの取り組みも本項目に
あたると思います。

② 適度な競い合いの気持ちや向上心をはぐくむための意図的な環境づくり

これは、主に教育行政側で検討してください。

関連する情報のみ提示します。

A. 運動会、成績、展覧会の努力すら認めない教育方針では競い合いや向上心は生まれ
ません。

また、学校の価値や思い出は先生が生徒の努力や特性を認めることから生まれます。
まずは、これらの具体策の検討から始めてみたらどうでしょうか。

B. 中国に進出して成功したダイキンの7人衆の一人の中国人からこんなことを言われ
ました。

競い合いや向上心を否定する日本の教育ではグローバル社会では生き残れない。

中国では年収が数十万円、1千万円、一億円の人が同じ職場にいるが、それぞれを
認めて数十万円の人を年収改善は求めようとしない。

日本の教育は社会主義の国のようになっている。

③ 教育活動への地域人勢の効果的な参画を促進し、社会性を育む機会の確保

地域として行うべき子供の教育は地域で行います。また、学校が求める地域学校協働活動
への地域協力はします。

地域で協力する地域学校協働活動が地域で行う子供の教育の一部にしか過ぎないことを知
ってもらうために南第二小校区の児童に対する地域のかかわりをまとめました。

南第二小、南小、吉分小を対象とした南地区の活動	
南地区自治連合会	生駒市南地区大運動会
約40回継続する南地区の自治会を対象とした運動会 児童、生徒、保護者、自治会員約3000人が交流をする運動会	
南地区民児協	子育て支援夏休み映画鑑賞会
身近なせせらぎホールで夏休みに親子の思い出作りをしてもらうための映画鑑賞会	
南地区民児協	幼稚園、小学校への教育支援
映画観覧会中止に伴い、幼小中への休校再開に必要な備品の支援 こども園への餅つき地域支援がなくなったためにこども園他5か所にもち花をつくり配布	
南地区民児協	民児協活動強化推進事業の実施
民生委員制度創設100周年の活動強化方策の一環の「民児協活動強化推進事業」の募集に 「民児協による地域の力（組織）の機織り事業」を社会福祉協議会と共同で提案をして、全 国で採択された5事業の一つに選ばれました。対象となる民児協は10,880団体でした。 この事業は、南地区民児協が行っている地域の力を強くするための活動を活動強化推進事業 として提案したものです。 この活動提案の一つに地域のボランティア活動の支援があり、次の支援を実施します。 ① クラスターが発生した高齢者施設への防護服1000着提供するボランティアへの支援 ② 地域学校協働活動を始めた南小、南第二小、吉分小へ地域ボランティアの支援が識別でき るビブスの配布	

南第二小、南小を対象とした市民自治協議会や地域ボランティアの活動	
あいさつタウン・南ネット	あいさつ運動
楓ちゃん事件を受け、地域で子供たちを守るために、あいさつを交わすあいさつ運動の実施	
あいさつタウン・南ネット	春休みこども祭り
従来は、せせらぎでゲームをしてカレーをふるまう活動をしていました。今年からはコロナ 対策も兼ねて地域遺産を知ってもらい、地域が子育て支援をする活動として「くらがりと うげ親子ハイク」を実施します。	
小平尾南老人クラブ	たわわ食堂
子どもの居場所づくりに取り組む活動	

南第二小を対象とした子供たちを守る地域ボランティアの活動	
萩の台住宅自治会	青パト隊
楓ちゃん事件をもとに、地域で子供たちを守るための巡回活動	
萩の台自治会	見守り隊
楓ちゃん事件をもとに、地域で子供たちを守るための巡回活動	

南第二小を対象とした子供たちへのふるさとづくりの自治会活動 ローレルコート萩の台自治会の例で他の自治会も同様な活動を実施しています。	
夏祭り 新春餅つき大会 クリスマスパーティ	子供たちのふるさとづくりをするための住民と子供の交 流活動

環境月間清掃 ・公園清掃と自衛消防訓練	住民と子供たちで行う地域奉仕活動
昔の夏休み体験 ・ラジオ体操、家族プールほかにぎわいルーム ・まちかど図書館とおもちゃおつきみどろぼう ・生駒に残る昔の風習 読み聞かせの会 ・読み聞かせグループ	子供たちへの支援明らかにした活動

南第二小校区の自治会の「100の複合型コミュニティづくり」への取り組み 今年度6自治会中2自治会で実施（自治会活動を通じたSDGsの実行）	
萩の台住宅自治会	こみすて：ごみ集積所こみユニティすてーション
ゴミ集積所を核とした子供と住民の交流活動	
LC萩の台自治会自治会	にぎわいステーション
子育て世代を対象としたテニスコートを用いた屋外サークル活動	

南第二小、生駒台小を対象としたスカウト技能体験	
スカウト協議会	野外活動
5年生の野外活動のプログラムの一環としてスカウト技能体験をする。 本活動とは別にボーイスカウト日本連盟が文科省から委託を受けて「ボーイスカウトと遊ぼう！ ワクワク自然体験あそび」を実施 11月にはボーイスカウト生駒第10団が北小平尾の野営場を中心に芋ほりとお芋料理と自然遊び体験をしました。生駒市内から約50名の親子が参加（南第二小の参加は？）	

南第二小地域学校協働活動：二小 学校コミュニティ協議会活動	
家庭科支援（ミシン）	5年生を対象とした家庭科支援
家庭科支援（針と糸）	5年生を対象とした家庭科支援
公園遠足	1, 2年生を対象とした遠足支援
焼き芋	1, 2年生を対象とした焼き芋づくり支援
児童館見学	2年生を対象とした人権教育支援
昔遊び	1年生を対象とした昔遊びの支援
昔の暮らし	3年生を対象とした昔の話
七輪体験	3年生を対象とした七輪体験指導
防災活動	4年生を対象とした防災教育支援
読み聞かせ	全学級の読み聞かせ
乙田人形浄瑠璃	6年生を対象とした乙田人形浄瑠璃説明
クラブ指導	卓球クラブの指導
消毒	コロナ対策としての毎週の消毒活動支援
樹木伐採	構内の樹木の伐採

草刈り	構内の草刈り
下校時の見守り支援	登校日の下校時の見守り
図画工作	次年度実施予定 図画工作支援
栽培支援	次年度実施予定 野菜栽培の支援
田植えと稲刈り	5年生を対象に田植えと稲刈り体験
校区巡り	2年生の地域巡りの安全確保
校区巡り	3年生の地域巡りの安全確保
夏休み学びタイム	夏休み宿題支援
二小未来創造ブログ	縦割り経済活動教育支援
お礼の会	5年生が収穫したお米をおにぎりにして地域の人々の協力にお礼をする会
炊き出し体験	土曜参観日終了時に自治会と民児委員が作った△とトン汁を食べる体験
運動会地域の輪づくり	運動会の昼休み前のプログラムでジェンカとじゃんけん電車を組み合わせて児童、先生、保護者、地域の人で地域の輪を作る。

④ 他の公共施設との複合化による教育活動、地域活動の充実

(既に実施していること)

- A. 校区巡りを通じた地域の認知活動
- B. 乙田人形浄瑠璃見学による地域文化の認知活動
- C. きらめきを利用した水泳教室
- D. 人権文化センターを利用した人権教育
- E. 暗峠棚田を守るNPO法人の認知活動

(今後実施が可能な活動)

- A. 人権文化センター(たわわ食堂)を利用した調理と地域交流
- B. あいさつタウン南ネット春休みこども祭り
「くらがりとうげ親子ハイク」を学校と協働実施による地域遺産を知る活動
- C. 関西メタルワーク棚見学による環境(リサイクル)活動の認知活動
- D. 一般社団法人無限(むげん)による障がい者支援活動の認知活動

以上